

下関市公共施設等総合管理計画（案）へのパブリックコメント実施結果

1. 意見募集期間

平成27年12月24日（木）～平成28年1月25日（月）

2. 意見応募状況

人数：7人

件数：12件

3. 意見の要旨と市の考え方

（1）本編 第2章 現状と課題

	該当箇所	意見等	考え方
1	2.4 公共施設等の現状と課題 (2) 中核市との比較 29～32頁	<p>他の中核市に比べて施設の人口あたりの面積が多いと、初めて知りました。でも、ここに一つのヒントがあります、そのための掘り下げが欲しいです。</p> <p>例えば、施設種別ごとになにか突出しているものがあるのかとか、そしてその考えられる理由とかがわかれば他の中核市と同じレベルにまで持って行くことは説得力を持つと思います。</p> <p>市域が広くて人口密度に偏りのある中核市は沢山あるはずですが、でも何が違うのか。</p> <p>そこが分からなければ単なる統計資料です。</p>	<p>各中核市においても、これまでの合併の経緯をはじめ、地形、交通体系など、様々な地域特性があります。</p> <p>本市の場合、平成17年の1市4町の新設合併により市域が広域となったことから、市の中心市街地が市の南端に位置するという地理的な特性があります。</p> <p>ご指摘のとおり、公共施設の適正な配置について具体的な方向性を整理していく上では、類似した他市と多角的に</p>

	該当箇所	意見等	考え方
			比較を行う等しながら、今後の施設の適正な配置を検討してまいります。

( 2 ) 本編 第 3 章 基本的な方針

	該当箇所	意見等	考え方
2	<p>3.1基本理念 54頁</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本意見等は、以下の箇所にも該当します。</p> <p>第4章 施設用途別の方針 4.1公共施設 (11)学校教育施設 92～93頁</p> </div>	<p>学校統廃合について、関西、桜山、神田3小学校統合後の学校位置が変更された答申の説明会が昨年7月にあった。その内容は私たちには理解出来ないのはずれで幼稚なもので大変失望していた。しかし今回のパブリックコメント計画(案)を拝読し大きく安堵した。</p> <p>先般、そのすべてを陳情している通りその位置は安全安心で且つ最も教育環境の秀でた位置とした、当市西玄関口にある関西小こそ地域コミュニティの核となるべきふさわしい存在であると確信している。</p> <p>その後(昨年)桜山小の位置で更なる不安感が2件あった。</p> <p>1)殺人未遂事件発生後の対応。校内に私道や私有地の存在により門扉の開閉ままならぬ不用心さ</p> <p>2)11月29日新聞にて大きく報道された津波の情報。</p> <p>一昨年政府にて公表された日本海側の想定最大級津波は、過小評価であり再検討が必要である。桜山小の位置では更に不安が募る。</p> <p>答申発表後初めて気付いたこと。私たちは今回の答申に対し大きな疑惑疑問・不信感を抱いている。その内容が万一必要であれば事実に基づいてご説明をします。</p>	<p>本計画は、今後到来する大量な施設の更新問題を次の世代に先送りしないよう学校教育施設をはじめ全ての公共施設を対象に適切に管理・運営しようとするものです。</p> <p>小・中学校につきましては、今後、本計画の下位計画として位置づけている「下関市立学校適正規模・適正配置基本計画」におきまして統合などを検討していくこととなります。</p> <p>いただいたご意見につきましては所管課と情報共有させていただきます。</p>

( 3 ) 本編 第 4 章 施設用途別の方針

	該当箇所	意見等	考え方
3	4.1公共施設 (3)文化施設 76～77頁	「今後のあり方について検討する必要があります。」となっているが、この文章ではやる気が見られないので、「今後のあり方について検討する。」と変えて欲しい。	ご意見をいただきました箇所につきましては、文化施設（図書館）の「現状と課題」について触れているものであり、ご指摘の記述は「課題」として整理しているものです。 これを踏まえて同施設の「マネジメント方針」におきまして取り組みを記述しているところです。
4	4.1公共施設 (3)文化施設 76～77頁	市民アンケートの「問6」（資料編：64頁）にもあるように、文化施設である図書館の必要性は市民の強い要望でもある。単独でなくても構わないので、他の施設（老朽化した所）との「複合化を前提として」ではなく、「複合化をして」と変えて欲しい。	本市の財政状況や今後の人口減少を考慮すると、現在ある施設の量や質をそのまま維持することは困難であることから、本計画により、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぐためにも、施設総量の縮減に取り組もうとするものです。 施設総量の縮減を行う場合に、複合化が有効な手法であ

	該当箇所	意見等	考え方
			<p>るものの、その実施にあたり様々な条件があるため、これからの検討の中での選択肢として「複合化を前提として」と記述いたしました。</p> <p>いただいたご意見につきましては、参考とさせていただきます。</p>
5	<p>4.1公共施設 (3)文化施設 76～77頁</p>	<p>図書館は、ミュージアム・博物館と同じ「社会教育施設」であり、生涯を通じ学ぶ機会を提供する重要な施設です。</p> <p>図書館法の改正を踏まえ、2012年、文部科学省より「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が告示されました。その背景は、公立図書館の役割やあるべき姿を明確にすることで、社会の変化や住民のニーズに併せた図書館の健全な発達を促すことにある、といわれています。</p> <p>本市においても「第2次下関市総合計画」(平成27年3月策定)や「下関市教育大綱」(平成27年5月策定)の中で、図書館の整備・充実が謳われており、今後さらなる図書館の振興が図られて行くものと思われる。</p> <p>また、昨年2月の「下関市市民実感調査 報告書」の「限られた財源の中で注力すべき施策(4頁)」の項における順位は、平成26年の31位から平成27年の20位と上昇しており、市民の生活実感の中でも図書館への意識が高まっていると推測されます。</p> <p>さらに、本計画案の資料編(64頁)からも文化施設への市民の必要</p>	<p>本市の財政状況や今後の人口減少を考慮すると、現在ある施設の量や質をそのまま維持することは困難であることから、本計画により、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぐためにも、施設総量の縮減に取り組もうとするものです。</p> <p>図書館につきましては、下位計画として位置づける「下関市図書館基本計画」(今後策定予定)に基づき適切に維持管理し、長寿命化を図ることとしております。</p> <p>更新時におきましては、い</p>

	該当箇所	意見等	考え方
		<p>性の声や期待度がうかがわれます。</p> <p>同じ社会教育施設でありながら、今後のマネジメント方針の記載において、図書館は「縮減を図ります」、ミュージアム・博物館等は「縮減を検討します」では、図書館の位置づけがミュージアム・博物館等よりも低く感じられます。</p> <p>つきましては、図書館も、ミュージアム・博物館等の記載と同じ文体に修正されるよう要望いたします。</p> <p>(修正案)</p> <p>図書館は、～(中略)～長寿命化を図ります。なお、更新を図る場合は、複合化を視野に入れ、施設総量の縮減を検討します。</p>	<p>ただいたご意見を踏まえ、利用状況等も見据えながら、幅広く検討する必要があると考えますので、文末を統一することとし、「総量の縮減を検討します。」として修正いたします。</p>
6	<p>4.1公共施設 (3)文化施設 76～77頁</p> <p>(4)スポーツ施設 78～79頁</p>	<p>文化施設やスポーツ施設を移転・新設・改築・維持する場合、中心市街地(下関駅や唐戸地区)を優先的に考慮すべきだと思います。</p> <p>その理由は、郊外に施設を分散させることは、市が進める「コンパクトシティ」の考えと逆行するからです。集客効果の高い文化・スポーツ施設が、新設や移転などのタイミングにあわせて中心市街地に移動すれば、街への人の来遊がさらに増え、街と経済の活性化につながります。県経済の中心地としての下関駅・唐戸エリアの地位復活、求心力向上のためにも、考慮していただきたいです。</p> <p>また、高齢化が進む中、交通手段が乗用車に限られる郊外よりも、駅やバスなどの公共交通機関が充実した中心市街地の方が、利便性が高いと思われます。</p> <p>現在、下関市体育館の建て替えが話題になっていますが、中心市街地への移転を考慮すべきだと感じます。スポーツ大会やイベントがあれば、飲食店や宿泊施設が多い中心市街地は利便性が高い上、市内外</p>	<p>公共施設の適正配置を検討する際には、中心市街地に施設を集約するという考え方もあります。</p> <p>本市の場合、平成17年の1市4町の新設合併により市域が広域となったことから、市の中心市街地が市の南端に位置するという地理的な特性があります。</p> <p>公共施設の適正配置にあたっては、中心市街地に限らず、市内全域の公共施設について、各地区の地理状況等を考</p>

	該当箇所	意見等	考え方
	<p>(5)医療保健福祉施設 80～81頁</p>	<p>から来た人たちがその周辺で飲食や宿泊をするため、中心市街地の活性化につながります。そして、JR下関駅やサンデン交通バスなどの利用者が増え、交通事業者による投資（増発・増便などの利便性向上）も期待できます。</p> <p>土地の確保が難しいと思われませんが、市が管理する「あるかぼーと」の未開発エリア、そして岬之町のコンテナミール跡地などがあるため、難しくないと考えます。</p> <p>夜間急病診療所の移転が話題となっていますが、市が進める「コンパクトシティ」の観点からみて、中心市街地（下関駅・唐戸地区）への移転を考慮すべきだと感じます。現在は自家用車やタクシーでの来所が多いと言われていますが、それは現施設が郊外にあることが原因だと思えます。</p> <p>今後、さらに高齢化が進めば、車の運転が難しくなり、経済的に困窮する方はタクシーでの来所は難しいと思えます。人口減少・高齢化という将来を考えると、中心市街地への施設の集約は必須であり、これ以上の郊外への公共施設・医療施設の分散は避けるべきです。</p> <p>また、看護専門学校などもあわせて移転すれば、地域への若者の来遊が増え、中心市街地の活性化にもつながるはずですが、土地の確保が難しいと思われませんが、市が管理する「あるかぼーと」の未開発エリア、そして岬之町のコンテナミール跡地などがあるため、難しくないと考えます。</p> <p>上記の通り、来所者の利便性・経済効果などを考えると、中心市街地への移転が望ましいと感じます。</p>	<p>慮する必要があり、また、その際には、それぞれの施設で行われる行政サービスや、施設の配置状況など様々なバランスを図りながら、今後、施設の適正な配置を検討してまいります。</p> <p>いただいたご意見につきましては、参考とさせていただきます。</p>

	該当箇所	意見等	考え方
7	4.1公共施設 (11)学校教育施設 92～93頁	公共施設全体の31%を占める学校教育施設は、適正規模・適正配置計画に基づき、優先的に統合整理すべき。	<p>本市の公共施設全体延床面積の約3割を占める学校教育施設は、本計画を今後進めていく上で、鍵となる重要な施設であると認識しております。</p> <p>今後、本計画の下位計画として位置づけている「下関市立学校適正規模・適正配置基本計画」ににおきまして統合などを検討していくこととなります。</p> <p>いただいたご意見につきましては所管課と情報共有させていただきます。</p>
8	4.1公共施設 (11)学校教育施設 92～93頁	下関商業高校については、順次建替え維持すべきと考え、地域開放型の高校としての位置づけも視野に入れてもよいと思う。	<p>下関商業高校については、「マネジメント方針」に記述しているとおり、適切に維持管理を行い、長寿命化を図ってまいります。</p> <p>いただいたご意見につきましては所管課と情報共有させていただきます。</p>



( 4 ) 資料編

	該当箇所	意見等	考え方
9	<p>資料1 地区別の公共施設の状況</p> <p>1. 市内各地区の状況</p> <p>(9)勝山地区</p> <p>23～24頁</p>	<p>下関市ふれあい健康ランドについては、抜本的に改革する時に来ている様です。毎年毎年の故障で昨年は、一年間ほぼ休業となっていました。継続させて運営させるために、この施設にプラスの要素を加えてはどうでしょうか。</p> <p>勝山砂子多住宅は、あと残り一戸となっています。入居されている方が円満に転居できる様に図って頂き、この地の再利用を考えて頂きたいと思います。更地にして、当面は公園にしてはどうでしょうか？</p> <p>勝山小学校の正門付近は、車両の迂回がスムーズに出来ないので、改良をお願いしたい。</p> <p>公民館の空き教室の有効利用として、企業が行う有料のセミナーや講演会などの一般利用ができるようにしてはどうでしょうか？勿論、使用料等は民間施設より少し高めでも良いのではないかと思います。公共施設の目的外使用となりますが、公共施設の維持管理には、どうしても費用が掛かりますので、法改正の要望を出してみてもどうでしょうか？</p> <p>少子高齢化で予算も厳しくなるので、官民一体となった施策も必要かと思えます。</p>	<p>本計画は、公共施設をはじめ土木インフラ施設、企業会計施設の総合的かつ計画的な管理を行うため、公共施設全体の方向性を示したものです。</p> <p>今後、個別計画において、公共施設の適正な配置について具体的な方向性を整理していきたいと考えております。</p> <p>いただいたご意見につきましては所管課と情報共有させていただきます。</p>

(5) 計画全体について

	意見等	考え方
10	<p>老朽化した建物を壊して、統廃合できるものは統廃合することに賛成です。第三幼稚園が廃園となったことを知り、ふるさとが下関である私としては寂しいものがあります。</p> <p>地の利、観光、そして、歴史のある街、歴史のある町というブランド、下関、独特のブランドを活かしての統廃合ができないものだろうか?とも思います。せっかく統廃合するのだから、観光をプラスさせて(道の駅みたいな)、一石二鳥、一石三鳥をねらってみて下さいませ。</p> <p>観光客のお方を呼び込むこと、そして、下関への定住、下関に移住してもらおう、こういうことにならないだろうか?と思います。</p>	<p>本市の財政状況や今後の人口減少を考慮すると、現在ある施設の量や質をそのまま維持することは困難であることから、本計画により、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぐためにも、施設総量の縮減に取り組もうとするものです。</p> <p>なお、施設総量の縮減にあたっては、単なる公共施設の縮減を図るのではなく、本市の特性を活かした「新しいまちづくり」を推進してまいります。</p> <p>いただいたご意見につきましては、参考とさせていただきます。</p>
11	<p>とてもきれいにできています。分かりやすく、問題点もよくわかります。しかし、どういうスケジュールでどうしたいのかが見えません。適切に対処するということが書かれていないように見えました。</p>	<p>本計画は、公共施設をはじめ土木インフラ施設、企業会計施設の総合的かつ計画的な管理を行うため、公共施設全体の方向性を示したものです。</p> <p>今後、個別計画において、公共施設の適正な配置について具体的な方向性を整理していきたいと考えております。</p>
12	<p>統合により、取り壊し、転売、他施設として利用等、幅広く計画し、市の財政負担を軽くするための方策を求めます。</p>	<p>本市の財政状況や今後の人口減少を考慮すると、現在ある施設の量や質をそのまま維持することは困難であることから、本計画により、次の世代に負担をかけない安全・安心な施設を引き継ぐためにも、施設総量の縮減に取り組もうとするものです。</p>